

【様式】

令和2年度 学校マネジメントシート

学校名（ 桑名西高等学校 ）

1 目指す姿

(1) 目指す学校像		<p>○自らの意志で学び、より高みに向かおうと挑戦する意欲にあふれた学校</p> <p>○協働と交流を通して、たくましく生きる力と他者への思いやりが育つ学校</p>
(2)	育みたい 児童生徒像	<p>○自分の興味関心や適性、働くことの意義や社会貢献について深く考え、自分の進路を主体的に決めることができる。</p> <p>○学習活動や特別活動、部活動に自主的、協同的に取り組み、社会で必要とされる力とそれを支える確かな学力、豊かな人間性を身に着ける努力ができる。</p> <p>○基本的な生活習慣等、人としてのあり方生き方のすべてにつながる土台となる部分が定着し、他者への配慮ができる。</p>
	ありたい 教職員像	<p>○目指す学校像の実現に向け、教職員一人ひとりが「誰のため、何のため」を常に意識して自己研鑽に努めるとともに、協力して取り組んでいる。</p> <p>○すべての教育活動で、生徒が知る喜びや学ぶ楽しさを実感でき、思考力・判断力・表現力をはぐくみ、主体的に取り組むことができるように工夫改善に努めている。</p> <p>○教職員が互いに切磋琢磨し、生徒と共に成長する活気にあふれた職場を目指している。</p>

2 現状認識

(1) 学校の価値を提供する相手とそこからの要求・期待	<p><生徒></p> <ul style="list-style-type: none"> ・基礎基本から様々な進路希望に対応した内容まで、興味関心を喚起する授業。 ・大学進学を中心に自分の力を伸ばし進路希望が実現できるきめ細かい指導・支援。 ・安心して豊かな学校生活を送るための教育環境と、学校行事、生徒会活動、部活動の充実。 <p><保護者></p> <ul style="list-style-type: none"> ・学力伸長と進路希望実現に向けた学習指導・進路指導・生徒指導の充実。 ・学校行事や部活動等をとおした豊かな人間性の育成。安全・安心な教育環境。 <p><地域></p> <ul style="list-style-type: none"> ・学力、体力、コミュニケーション力を備え、将来地域社会で主体的に活躍できる人材育成。 ・授業や学校行事の公開、部活動の交流、地域行事への参画をとおした開かれた学校。 	
	<p style="text-align: center;">連携する相手からの要望・期待</p>	
(2) 連携する相手と連携するうえでの要望・期待	<p><家庭></p> <p>学力伸長および進路希望実現や、豊かな人間性の育成に向けての教職員による支援と十分な情報提供。</p> <p><中学校></p> <p>本校の特色や生徒の学校生活の様子、進路状況などの情報提供。</p> <p><地域></p> <p>学校行事等の公開。地域活性化のために地域行事や防災活動等への生徒の参画。</p>	<p style="text-align: center;">連携する相手への要望・期待</p> <p><家庭></p> <p>学校教育への理解と協力。基本的な生活習慣の確立や進路希望実現に向けた支援。</p> <p><中学校></p> <p>基本的な生活習慣の確立と基礎学力の定着に向けた相互協力。情報交換と協力・支援。</p> <p><地域></p> <p>学校の教育活動や生徒が生き方や働き方を考えるための協力・支援。</p>

<p>(3) 前年度の学校関係者評価等</p>	<p><職員の労働時間の縮減></p> <ul style="list-style-type: none"> ○定時退校日については、学校の方針がすべての教員に浸透する工夫が必要。また、別途個人で定時に退校する日を宣言するなど、さらなる取り組みの検討も必要。 ○部活動については、休養日を週1日から週2日に増やし活動にメリハリをつけてはどうか。また、短時間に集中し効果や競技成績をあげている例もある。慣習に囚われない、新しい指導方法を取り入れてはどうか。 <p><防災教育></p> <ul style="list-style-type: none"> ○本校の防災活動は完成に近づきつつある。今後は地域の方の参加を増やしていけるように取り組んでほしい。また、今後も継続して被災地への学校防災ボランティアに参加してほしい。(参加生徒の情報発信は大きく、他の生徒の刺激にもなる) <p><安全教育></p> <ul style="list-style-type: none"> ○自転車通学時の携帯電話・スマートフォンの利用禁止の徹底など、生徒の「いのちを守る」取組の一環として、交通安全の遵守に取り組んでいただきたい。 <p><情報発信></p> <ul style="list-style-type: none"> ○ホームページは中学生や保護者が見やすいようにさらに工夫してはどうか。 ○新聞等に積極的に情報発信し、桑名西高校の活性化につなげてほしい。 				
<p>(4) 現状と課題</p>	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 15%; text-align: center; vertical-align: middle;">教育活動</td> <td style="padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ○自ら挑戦する心を持ち、自主的に自己の生きる力を伸ばすことができる生徒の育成が求められている。 ○難関大学等への進学志向が高まっており、多様な入試機会を積極的に活用し自らの進路を切り拓こうと挑戦する生徒が増えている。 ○国公立大学をはじめ、第一志望合格に向けて粘り強く最後まで学習する指導を強化しており、指導方法や進路指導体制のさらなる改善が必要である。 </td> </tr> <tr> <td style="width: 15%; text-align: center; vertical-align: middle;">学校運営等</td> <td style="padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ○社会で求められる力の育成のため、教科横断的で探究的な学習を着実に実施できる体制を構築する必要がある。 ○学年や分掌、教科を越えた学校全体的な取り組みを行うにあたり、情報共有や意思統一を円滑に図るため、ICT機器の活用やシステムの改善など一層の工夫が必要である。 ○休暇取得の促進や定時退校日の遵守など、職員のワークライフバランスの改善に向けた取り組みが必要である。 </td> </tr> </table>	教育活動	<ul style="list-style-type: none"> ○自ら挑戦する心を持ち、自主的に自己の生きる力を伸ばすことができる生徒の育成が求められている。 ○難関大学等への進学志向が高まっており、多様な入試機会を積極的に活用し自らの進路を切り拓こうと挑戦する生徒が増えている。 ○国公立大学をはじめ、第一志望合格に向けて粘り強く最後まで学習する指導を強化しており、指導方法や進路指導体制のさらなる改善が必要である。 	学校運営等	<ul style="list-style-type: none"> ○社会で求められる力の育成のため、教科横断的で探究的な学習を着実に実施できる体制を構築する必要がある。 ○学年や分掌、教科を越えた学校全体的な取り組みを行うにあたり、情報共有や意思統一を円滑に図るため、ICT機器の活用やシステムの改善など一層の工夫が必要である。 ○休暇取得の促進や定時退校日の遵守など、職員のワークライフバランスの改善に向けた取り組みが必要である。
教育活動	<ul style="list-style-type: none"> ○自ら挑戦する心を持ち、自主的に自己の生きる力を伸ばすことができる生徒の育成が求められている。 ○難関大学等への進学志向が高まっており、多様な入試機会を積極的に活用し自らの進路を切り拓こうと挑戦する生徒が増えている。 ○国公立大学をはじめ、第一志望合格に向けて粘り強く最後まで学習する指導を強化しており、指導方法や進路指導体制のさらなる改善が必要である。 				
学校運営等	<ul style="list-style-type: none"> ○社会で求められる力の育成のため、教科横断的で探究的な学習を着実に実施できる体制を構築する必要がある。 ○学年や分掌、教科を越えた学校全体的な取り組みを行うにあたり、情報共有や意思統一を円滑に図るため、ICT機器の活用やシステムの改善など一層の工夫が必要である。 ○休暇取得の促進や定時退校日の遵守など、職員のワークライフバランスの改善に向けた取り組みが必要である。 				

3 中長期的な重点目標

教育活動	<ul style="list-style-type: none"> ○個々の生徒がより高い目標を設定し、自ら学ぶ姿勢を身につけ、自己の可能性を伸ばすことができる学習活動を推進する。またその実践のため、教員一人ひとりが指導力の向上を図る。 ○学校生活を通して主体的に行動することができ、社会性、協調性、責任感、創造力、企画力、コミュニケーション力、忍耐力などを身につけ、心身共にたくましく、他者への共感ができる生徒を育成する。 ○命を大切にし、自己肯定感を高め、一人ひとりが大切にされる人権感覚あふれる学校づくりを推進する。
学校運営等	<ul style="list-style-type: none"> ○指導内容や評価方法について教科会での活発な議論を推進するとともに、学校全体として学力向上や授業力向上に向けた新たな企画や改善策を積極的に提案し合い実行できる体制を構築する。 ○目的意識の共有化を図り、組織力を向上させるとともに、地域の多様な関係者と連携することなどにより、有為な社会人を育成するために最適な教育環境を創造する。 ○総勤務時間の縮減など、教職員が健康で意欲的に働くことができる職場環境づくりに取り組む。

4 本年度の行動計画と評価

(1) 教育活動

教育活動に関する項目は、児童生徒を対象としたものとするのが望ましい。

(例)「教育課程・学習指導」「キャリア教育(進路指導)」「生徒指導」「保健管理」など
また、評価項目・指標等を検討する際の視点は、学校の実態に応じて設定する。

【活動指標について】取組・活動の具体的な活動量や活動実績を指標にします。

【成果指標について】取組・活動による具体的な効果や成果等を指標にします。

【備考欄について】「※」: 定期的に進捗を管理する取組 「◎」 最重要課題

項目	取組内容・指標	結果	備考
学習指導の充実	<p>(1)「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善をおこない、生徒たちの資質・能力を育成する。</p> <p>(2)確かな学力が身につくよう、ICTの積極的な活用など指導方法の工夫・改善をはかり、個々に応じたきめ細かな指導の充実を図る。</p> <p>(3)各教科と連携し、図書館を活用した学びを促す。</p> <p>【活動指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全ての教科で、課題の発見・解決や習得・活用・探究の学習プロセスを意識した授業を実施。 ・教科会議を月2回以上開催し、生徒の学習状況の把握に努める。 ・生徒学校満足度アンケートの実施。 ・教科別図書館購入リクエストアンケートを実施。授業に連携した展示コーナーを設置。 <p>【成果指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・主体的に授業に参加したと回答した生徒の割合 8割 ・授業等での図書館利用 45時間(昨年実績37時間) <p><探究学習></p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業や総合的な探究の時間をとおして、自己のあり方を考え、社会の中で自分をよりよく生かす道を探れるよう、学年進行で探究学習活動の検討を進め充実を図る。 <p><人権・環境教育></p> <ul style="list-style-type: none"> ・将来社会の一員として期待される人間形成を目指すために、「人権・環境・平和」等についての学習を深める <p><主権者教育></p> <ul style="list-style-type: none"> ・主権者として社会の中で自立し、地域の課題解決を社会の構成員の一人として主体的に担う力を身につける。 		
地域から信頼される、安全・安心な教育環境の構築	<p>(1)授業や学校行事の公開、学校施設の地域開放、協働して行う挨拶運動や美化活動などをとおして、保護者や地域との連携を一層深める。</p> <p>(2)現在および将来に直面する災害に対して、地域と連携して防災教育の充実と防災意識の向上を図る。</p> <p>(3)学校説明会・クラブ見学会を開催することにより、桑名西高校の魅力を中学生や保護者に発信していく。</p> <p>(4)教育公務員として法令を遵守し、高い倫理観と崇高な使命感を持って職務に専念し、不祥事根絶に向けて討議していく。</p> <p>【活動指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・HP やきずなメール、学年通信等による積極的情報発信。マスメディアへの情報提供。 ・防災訓練や防災研修会を年2回実施。 ・地域から参加要請があった各種行事への積極的参加の推進。 ・中学生に親しみやすく、わかり易い学校パンフレットの制作。 		

	<p>【成果指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・HPの更新回数5回以上／月平均 ・情報発信が適切であったと回答した保護者の割合 9割 ・年1回以上地域の活動に参加したと回答した生徒の割合 8割 ・学校説明会および学校見学会に参加して本校の様子がよくわかったと回答した中学生の割合 8割 		
<p>キャリア教育の充実</p>	<p>(1)大学入学共通テストや一般入試を視野に入れて受験勉強に取り組むとともに、国公立大学における推薦入試の積極的な活用を図る。</p> <p>(2)多種多様な生徒の進路希望が実現できる、きめ細かい指導・支援を図る。</p> <p>(3)一人一人の社会的・職業的自立に向け、必要な基盤となる能力や態度を育む。</p> <p>【活動指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大学進学希望者の大学入学共通テスト・一般入試受験を促進。 ・就職希望者への面談の充実を図る。 ・進路講話、進路ガイダンス（入試に向けて・学部学科選択・文理選択）、ようこそ先輩、卒業生講話の実施。 ・校外模試（全統模試・進研模試・看護模試・公務員模試）、自己診断テスト（スタディーサポート・R-CAP）の活用。 ・1日看護体験、保育体験、作業療法士体験の奨励。 ・探究学習プロジェクトを組織し学年別に探究活動を実施。 ・授業及び総合的な探究の時間を活用した「18歳選挙権」関連講座の実施。 ・ホームルーム活動、生徒会活動、部活動、教育委員会や地域と連携した活動の活性化。 <p>【成果指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自己の進路希望実現に向けて最後まで粘り強く努力したと回答した生徒の割合 8割 		
<p>生徒指導の充実</p>	<p>(1)挨拶・清掃・身だしなみ「当たり前を素晴らしく」を目標に掲げ、生徒自らが進んで学校生活を過ごすことを目的としている。生徒や教職員が積極的に挨拶を交わす関係を築くことで、他者を思いやり、自らを大切にできる態度を育て、人間関係を育む。</p> <p>(2)美化意識の向上、校内美化・清掃活動に積極的に取り組む。また交通安全に対する意識の向上やマナーアップに努め、地域の一員としての役割を担う。</p> <p>【活動指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・いじめ防止、薬物乱用防止、交通安全（特に自転車事故の防止）、ネットモラル等の講演会の実施。 ・年間を通じた登下校指導の実施。 <p>【成果指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自ら進んで挨拶をすることができる生徒の割合 8割 ・校内美化・清掃活動に努めることが出来たと回答した生徒の割合 7割 		

心と体の健康の充実	<p>(1) 高校生に必要な健康に関する知識の獲得と意識の高揚を図り、自己管理能力をつける。</p> <p>(2) 早期の問題発見・解決に向けて、担任・学年団・分掌・スクールカウンセラーとの連携を密にし、教育相談および特別支援教育の充実を図る。</p> <p>【活動指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「保健だより」を年間12回以上発行 ・「いのちの教育」について生徒対象講演会を年1回実施。 ・新型コロナウイルス感染拡大防止対策として手洗い慣行とともに、年間を通じて校内消毒、毎朝検温確認を実施。 <p>【成果指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分自身の心と体の状態を理解することができたと回答した生徒の割合 8割 		
改善課題			
年度末に記入			

(2) 学校運営等

学校運営等に関する項目は、教職員や施設等を対象としたものとするのが望ましい。

(例)「組織運営」「研修(資質向上の取組)」「情報提供」「保護者・地域住民等との連携」など
また、評価項目・指標等を検討する際の視点は、学校の実態に応じて設定する。

【活動指標について】取組・活動の具体的な活動量や活動実績を指標にします。

【成果指標について】取組・活動による具体的な効果や成果等を指標にします。

【備考欄について】「※」: 定期的に進捗を管理する取組 「◎」: 最重要取組

項目	取組内容・指標	結果	備考
資質向上の取組	<p>(1) 教科会を定例化・活性化し、授業内容・評価方法の検討と授業力向上に取り組む。</p> <p>(2) 校内研修会の充実および外部研修等の成果を全職員で共有する。</p> <p>【活動指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・相互授業見学を1・2学期に各1週間実施。 ・各部主催の教職員研修を各年1回実施。 <p>【成果指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業改善が進み、生徒にとって満足度が高い授業が実施できたと回答した教職員の割合 8割 		
組織力の向上	<p>(1) 日頃から教職員間の対話を重視するとともに、打合せや会議をとおして、生徒に関する情報や校務運営の情報共有を密にする。</p> <p>(2) 学年・分掌の協力体制を強化し、進路指導や生徒指導、教育相談の情報共有を活発に行う。</p> <p>(3) 「運営委員会」「桑西向上委員会」において、組織運営及び入試制度や進路指導の在り方等について継続して検証する。</p> <p>【活動指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・組織力の向上に向けた積極的な情報共有と改善に向けた様々な提案 <p>【成果指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・校務運営に積極的に関わることができたと回答した教職員の割合 7割 		

働きやすい職場づくり	<p>(1) 会議の精選や時間の短縮などにより労働時間の適正化に努め、定時退校や有給休暇の計画的取得、ライフステージに応じて必要となる休暇取得などを推進する。</p> <p>(2) 互いに職場の仲間を思いやる心がけを大切にするとともに、教職員一人ひとりが相手の意見を尊重しながら自由闊達に意見を言い合える職場環境づくりに努める。</p> <p>【活動指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 定時退校日（月 2 回）を実施し、設定した日の定時に退校できる職員の割合 90%を目指す。（昨年実績 86.7%） ・ 部活動休養日を原則週 1 日設定し、計画通り実施できた部活動の割合 100%を目指す。（昨年実績 93.5%） ・ 放課後に開催される会議が 60 分以内に終了する割合 80%を目指す。（昨年実績 68.1%） <p>【成果指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 自分自身のワークライフバランスが向上したと回答した教職員の割合 70%を目指す。（昨年実績 58.8%） ・ 休暇を一人平均年 15 日以上取得。（昨年実績 12.5 日） ・ 時間外労働月 80 時間を超える職員の年間延べ人数を 1 割削減（昨年実績 30 人） ・ 時間外労働を一人平均月 1 時間削減（昨年実績一人平均月 25.3 時間） 		
改善課題			
年度末に記入			

5 学校関係者評価

明らかにした改善課題と次への取組方向	
--------------------	--

6 次年度に向けた改善策

教育活動についての改善策	
学校運営についての改善策	